



議会だより

# おやま 町議会

No. 130

発行：静岡県駿東郡小山町議会



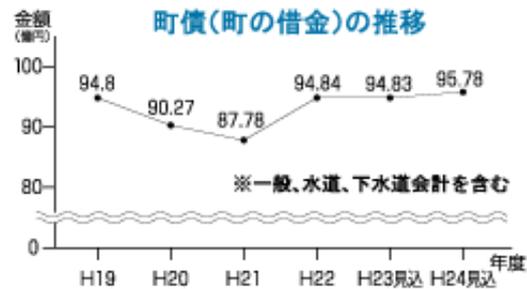
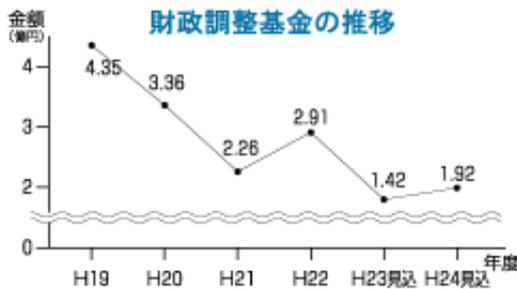
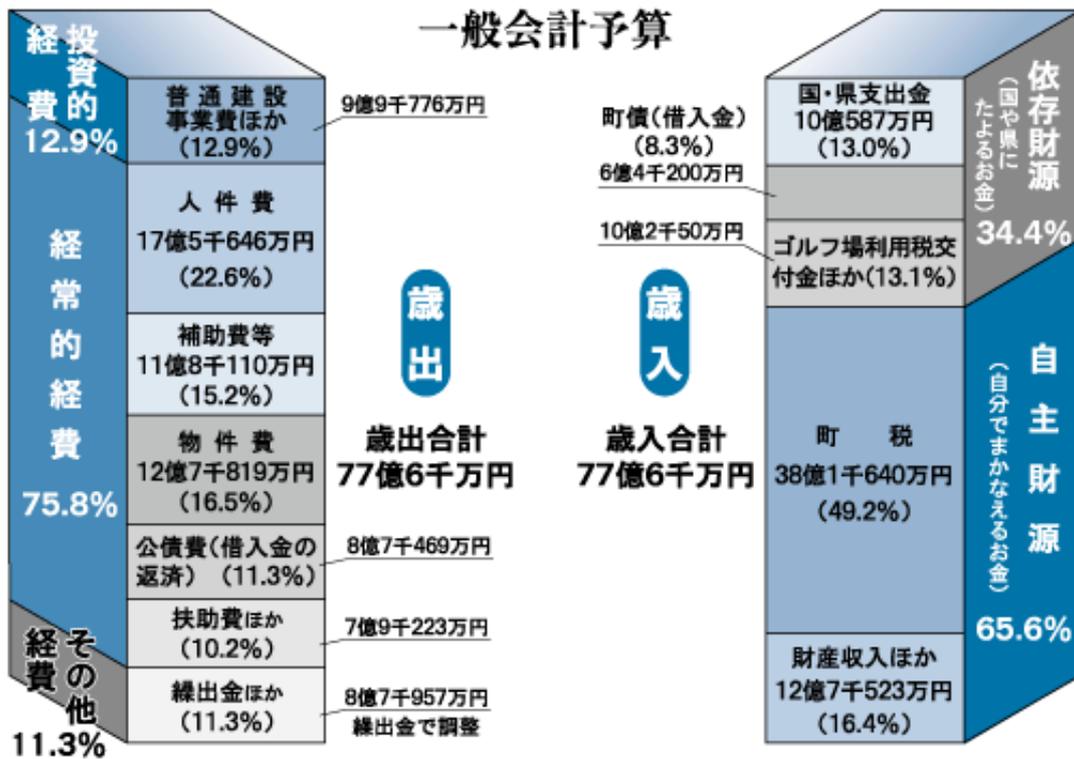
— 保育園はどこなところかな？ すばしり保育園の入園式 —

3月  
定例会

- 平成24年度予算を可決 ..... 2
- 職員の特殊勤務手当を全廃・役場の機構改革 ..... 4
- 湯山宏一議員を偲んで ..... 6
- 町政のここが聞きたい 一般質問に6人 ..... 8
- 研修報告・私の望み ..... 14

# 24年度 緊縮・実行型予算を可決 一般会計予算77億6千万円!!

3月定例会が2月24日から3月15日まで、会期を21日間として開催されました。  
 今定例会には当局から、新年度予算や条例の一部改正など32議案、委員の同意2議案、  
 専決処分の承認1議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。  
 この他、議会改革調査特別委員会設置議案と、意見書1議案が可決されました。



## 予算質疑徹底 チェック

町民生活の向上につながる効率的な予算編成を

**Q** 歳入は直接間接にしろ町民の税金であり、歳出については有効かつ効率的でなければならぬ。大幅に削減した事業、廃止した事業、施策保留や見直しをした事業は何か。

**A** 事業の進捗状況等を考慮し、予算計上を保留とした主なものとして、きたごう保育園舎改築事業の本体工事費と、生涯学習施設改修工事があります。

**富士山麓ビジネスマッチング事業の内容は**  
**Q** 富士山麓ビジネスマッチングの具体的な内容は。

**A** この事業は、静岡県が進めているファルマバレープロジェクト推進の中核的支援機関であるファルマバ

レーセンターが行う産学官、(産業、学術、行政)の連携事業です。

この連携から創出される製品化のニーズと地域の企業の技術が結びついてビジネスマッチングをすることでいった事業です。

小山町では平成22年度から御殿場市とともに参画をしました。県下12の市町で構成されています。

**小山町定住促進事業(仮称)の基本構想は**  
**Q** 新たな事業で町外からの移住者の増加及び町外への流出を抑制するとしているが、小山町定住促進事業(仮称)の基本構想は。

**A** 町内に土地、住宅を取得し、住民登録した他市町村からの転入者に対して、最大50万円の助成をし、町内の転居者に対しては最大30万円の助成をするものです。また、住宅の賃貸につきましては、仲介手数料相当額の一部を助成しようとするもので、他市町村から

の転入者に対して最大5万円を助成し、町内の転居者に対して最大3万円を助成することを考えています。

**区長の交付金が50万円減となっているが**  
**Q** 区長の交付金が昨年度の予算と比較して50万円減額となっているがこの理由は。

**A** 富士学校宮内在住者分を削減したものです。

**電気自動車用急速充電設備設置事業の効果と町にとつてのメリットは**  
**Q** クリーンエネルギー自動車等導入促進対策補助金300万円に対して、電気自動車用急速充電設備設置事業費に1千100万円、収支の差が800万円ある。道の駅「ふじおやま」と道の駅「すばしり」に1基ずつ設置との説明だが、その効果と町にとつてのメリットは。

**A** 電気自動車の普及はまだまだ少ない状態です。充電器の整備が進みますと、電気自動車が普及し、CO<sub>2</sub>の大幅削減により環境問題の解決になるのはもちろんのこと、近隣の神奈川県、山梨県などと広域連携により箱根富士山ろく地域における電気自動車を活用した観光ルートの構築ができ、観光振興が見込まれると考えております。

**臨時職員、臨時保育士、臨時教諭の待遇改善を**  
**Q** 臨時職員の賃金等が仕事の割に少ないのではないかと。仕事に見合った待遇改善をどのように考えているのか。

**A** 臨時職員には、正規職員より安い賃金で対応していただいています。幼稚園・保育園のクラス担任は月給制を採用し、1年毎に昇給をしています。休暇についても正規職員に準じて付与しています。臨時職員は大きな力となっ

ていますので、今後とも待遇の改善をしていきたいと思っております。

**都市計画マスタープラン実現に向けて町長の決意は**  
**Q** 今まで13年間でできなかった都市計画マスタープラン実現に向けて町長の決意は

**A** 選挙での公約を守ることが私の仕事。必ず実現してみせます。

ランを全て行うには相当なエネルギーが必要だが、必ず実現するよう特段の御配慮をお願いしたい。そこで、町長に決意を伺いたい。

### ■平成24年度予算 一般会計の歳出内訳

項目	本年度	前年度	増減額
1 議会費	1億 532万円	1億2,290万円	△1,758万円
2 総務費	12億1,210万円	11億7,966万円	3,244万円
3 民生費	17億8,216万円	20億2,489万円	△2億4,273万円
4 衛生費	10億 319万円	10億9,392万円	△9,073万円
5 農林水産業費	2億4,557万円	1億7,954万円	6,603万円
6 商工費	2億9,214万円	2億6,977万円	2,237万円
7 土木費	7億6,259万円	5億2,627万円	2億3,632万円
8 消防費	4億9,032万円	3億9,339万円	9,693万円
9 教育費	8億2,031万円	14億2,644万円	△6億 613万円
10 災害復旧費	1億5,661万円	3億7,983万円	△2億2,322万円
11 公債費	8億7,469万円	9億1,839万円	△4,370万円
12 予備費	1,500万円	1,500万円	0円
歳出合計	77億6,000万円	85億3,000万円	△7億7,000万円

\*金額は千円以下、予算額は小数点以下第2位を四捨五入

# 3月定例会

## 小山町職員の特殊勤務手当を全廃 ◎4月1日より役場の組織・機構を 改革

### 特殊勤務手当に關する条例の廃止

3月定例会において、町職員の特殊勤務手当を全廃する条例が全員賛成で可決されました。

特殊勤務手当は保育士手当、山岳高地作業手当、用事交渉業務手当、精神保健業務手当、塵芥処理手当など15種類で、40円から5千円までなっていました。

平成23年度の特殊勤務手当の予算額は総額145万9千円でした。

全廃の理由は特殊勤務手当の制度創設当時と現在とは社会情勢が著しく変化していること、近隣市町の支給状況等を勘案し、その勤務の特殊性については、本来業務の範囲内に含まれるものと判断したため。

### 役場組織・機構の一部改正

小山町部署設置条例の一部を改正する条例が全員賛成で可決されました。

これは、希望と活力あふれるまちづくりに向けて、一層の行動力を持った組織を目指し、平成24年4月1日から役場の組織、機構を一部改正することに伴うものです。

#### ◎理事の設置

具体的には、町長の命を受けて、特定事項を所掌する目的で、4つの部には所属しない「理事」を新たに設置し、豊富な経験や人脈を持つ静岡県職員を登用します。なお、理事は部長と同等の参事とします。

#### ◎総合相談室の新設

本庁舎1階に総務課所管

#### ◎企画総務部

◎政策秘書課の新設  
町長の特命事項の処理や秘書機能の強化のため、企画総務部の筆頭セクションとして、「政策秘書課」(政策秘書スタッフ)を新たに設置し、庁議、町長政策提言、広報広聴、統計、区長

#### ◎企画財政課の新設

総合計画、行政評価、事業別予算の運動のため、「企画財政課」を新たに設置し、総合計画、消費生活

#### ◎健康福祉課の新設

福祉課と健康課を統合し、「健康福祉課」を新たに設置し、社会福祉(福祉スタッフ)、健康づくり、医療、健康福祉会館管理(健康スタッフ)、介護保険(介護保険・高齢者スタッフ)等を一体的に推進していきます。

#### ◎地域防災課の新設

地域防災の充実、安心・安全のまちづくりのため、防災室にかわり、「地域防災課」(地域防災スタッフ)を新たに設置し、防災、防犯、交通安全等を所掌します。これに伴い、生活環境

(総務スタッフ)の「総合相談室」を新たに設置し、町職員OBの相談員による、町民向けの総合相談を開始します。

#### ◎総務課の所掌拡大

総務課に「環境スタッフ」を新たに設置し、住民福祉部 生活環境課で行っていた、環境保全及び清掃に関する事務を所掌します。

#### ◎住宅福祉課の新設

都市整備課内に、定住促進につながる「住宅建築相談室」(建築住宅スタッフ)を設置し、新・増・改築を支援していきます。

#### ◎子ども育成課の新設

ことにも関する事務の統合のため、学校教育課にかわり、「子ども育成課」を新たに設置し、教育委員会や学校教育を担当する「教育スタッフ」と、幼稚園・保育園を担当する「育成スタッフ」を設置します。これに伴い、福祉課から、子ども手当や母子福祉等の事務を移管します。

#### ◎経済建設部

◎商工観光課のスタッフの統合  
商工観光課内の仕事の連携を考慮して、商工スタッフと観光スタッフを統合し、「商工・観光スタッフ」を設置し、観光立町や商工業の発展に一体的に取り組めます。

#### ◎住宅建築相談室の新設

都市整備課内に、定住促進につながる「住宅建築相談室」(建築住宅スタッフ)を設置し、新・増・改築を支援していきます。

#### ◎子ども育成課の新設

ことにも関する事務の統合のため、学校教育課にかわり、「子ども育成課」を新たに設置し、教育委員会や学校教育を担当する「教育スタッフ」と、幼稚園・保育園を担当する「育成スタッフ」を設置します。これに伴い、福祉課から、子ども手当や母子福祉等の事務を移管します。

※条例案はこの2つの条例のほか9件、専決処分承認1件が全員賛成、1件が多数賛成で可決されました。また、平成23年度補正予算案6件、平成24年度予算案5件が全員賛成、3件が多数賛成で可決されました。

町道路線の廃止1件、町道路線の認定1件、工事請負契約(変更)の締結について4件、同意2件、発議2件については、すべて全員賛成で可決されました。

**6月定例会のお知らせ**

6月定例会は次のように開催する予定です。

- ◆5月31日 町長から6月議会への提出議案の説明、委員会付託
- ◆6月6日 一般質問
- ◆6月8日 総務建設委員会
- ◆6月11日 文教厚生委員会
- ◆6月15日 常任委員会委員長の審査報告、質疑、採決

※変更になる場合があります。

# 小山町議会改革調査特別委員会を設置

◆地方分権、行政運営の変  
化、住民意識の多様化、住  
民による行政参加等々によ  
り、議会を取り巻く環境の  
変化が著しい中で、議会本  
来の役割を果たすため「小  
山町議会改革調査特別委員  
会」を設け、議会改革の取  
り組みを研究する必要があ  
るという理由から、議発  
議により3月議会最終日に  
議案が提出され、全員賛成  
で可決されました。

◆**継続費の補正**  
須走小学校屋内体育  
施設建設事業  
2千323万4千円

◆**繰越明許費の補正**  
須走地区法定外道路  
用地処理委託  
247万円

◆**地方債の補正**  
保育園改修事業  
3千240万円

◆**歳入の主なもの**  
町たばこ税  
2千万円

◆**歳出の主なもの**  
老人福祉総務費  
△7千814万2千円

◆**債務負担行為の補正**  
町制100周年記念事業  
交付金  
2千万円

◆**小山町一般会計  
補正予算**  
平成23年度補正予算案6  
件、平成24年度予算案5件  
については、全員賛成で、  
平成24年度予算案3件につ  
いては、多数賛成で、可決  
されました。

◆**教育費国庫補助金**  
3千61万3千円  
国の補正予算措置に伴い、  
来年度に実施予定であった  
北郷小学校北校舎及び給食  
棟と須走中学校格技棟の  
耐震補強事業に対し、今年  
度に予算措置されること  
となったため、学校施設環境  
改善交付金を、それぞれ  
千938万9千円と231万7千円  
を増額すること、同じく来  
年度実施予定であった生涯  
学習施設改修設計に対し  
て、防衛省の防衛施設周辺  
整備助成補助金916万4千円  
が、今年度予算措置される  
こととなったため増額する  
のが主なもの

◆**地方債の補正**  
保育園改修事業  
3千240万円  
本年度の起債対象事業に  
ついて、借入限度額を変更  
するもの  
他6件

◆**歳入の主なもの**  
町たばこ税  
2千万円  
町内販売店の売上げ額が  
上昇したため増額するもの

◆**歳出の主なもの**  
老人福祉総務費  
△7千814万2千円  
地域密着型介護保険施設  
の建設が中止となったた  
め、県から町を通じて補助  
する、地域密着型サービ  
ス等基盤整備補助金を7千  
620万円減額するのが主な  
もの

◆**債務負担行為の補正**  
町制100周年記念事業  
交付金  
2千万円  
来年度、町制施行100周年

◆**地方交付税**  
2千524万4千円  
特別交付税において、今  
年度の台風による災害復旧  
に対して、交付の増額が見  
込まれるもの

◆**関係する多くの地権者の  
方が町外にお住まいであ  
り、現住所地を特定するの  
に時間を要し、今年度中に  
事業が完了しないため、繰  
り越すもの**  
他7件

◆**町民いこいの家**  
管理費  
187万5千円  
あしがら温泉のポンプ交  
換に係る修繕料198万4千円  
を増額するのが主なもの

◆**下水道整備費**  
277万円  
当初見込みより下水道使  
用料が減少する見込みと  
なったため、その調整分と  
して、特別会計繰出金を増  
額するもの

◆**総務建設委員会  
副委員長に阿部  
司議員を選出**

◆**教育委員会委員  
に米山芳子さん  
(須走)を選任**

◆**意見書の採択**  
「各原発の使用済み核燃  
料の安全な保管、そして、  
再生可能エネルギーを重視  
したエネルギー政策の変更  
を求める意見書」が議発  
議により3月議会最終日に  
議案が提出され、全員賛成  
で可決されました。

◆**総務建設委員会副委員長  
の欠員が生じ、総務建設委  
員会において、副委員長に  
阿部司議員が選任されまし  
た。**  
その他、広報対策特別委

◆**教育委員会委員  
に米山芳子さん  
(須走)を選任**  
教育委員会委員の米山珠  
江さんが、3月31日に任期  
満了で退任されることに  
なったため、新たに米山芳  
子さん(須走)を選任する  
こと、斎藤広人さん(竹  
之下)を引き続き選任する  
ことに全員同意しました。



総務建設委員会副委員長  
阿部司議員

◆**町民いこいの家**  
管理費  
187万5千円  
あしがら温泉のポンプ交  
換に係る修繕料198万4千円  
を増額するのが主なもの

◆**総務建設委員会副委員長  
の欠員が生じ、総務建設委  
員会において、副委員長に  
阿部司議員が選任されまし  
た。**  
その他、広報対策特別委

湯山宏一議員のご逝去に際し、追悼の言葉を述べさせていただきます。

私はこの議場の演壇に登壇させていただきます。去る、二月十二日午前八時二十分、忽然として幽明境を異にした、故湯山宏一議員の御霊に對しまして、謹んで哀悼の誠をささげます。

あなたの突然の訃報に接し、言いようのない、驚きと悲しみの中で、あなた



と、この世で再びお目にかかれぬ事実を、自らの心に言い聞かせるとき、運命のあまりの厳しさに、心打ちひしがれる、思いでございます。

あなたは、退職後は、谷戸区長に推挙され、更に小山町区長会長の要職に就かれました。

また、御殿場市・小山町広域行政組合代表監督委員や小山町行政改革懇談会委

員長、さらに、各種委員会の役員を歴任されるなど、輝かしい経歴であり、積極的に人と人のふれあいを原動力とした郷土作りと小山町発展のため、献身的に尽くされてまいりました。

その誠実な取り組みは、多くの人を魅了し、高潔な人格と併せて優れた人格により様々な分野において、常にリーダーとして先頭に立って活躍されてきました。そうしたあなたは、地

域住民をはじめ、広く町民の信頼を集めることとなり、平成二十三年四月に行われた小山町議会議員選挙に当選されました。

## 湯山宏一議員を偲んで

議会議場におかれましては、十か月余と短いわけですが、あなたの幅広い知識と有能な手腕は、衆目の一致して認めるところであり、現在は、総務建設副委員長として、諸問題に取り組み、小山町の進展のため、献身的なご尽力をい

ただいていた最中でありました。

また、議会広報対策特別委員会委員として、今までと違った視野から、更に充実した議会だよりの発行にも真剣に取り組んでいたというのでした。

あなたは、新人議員の先頭に立って、各種の研修会の開催に尽力されたり、小山町議会の改革についても、熱心に説いていました。姿は忘れられません。これ

からという時に誠に残念でなりません。

二月八日の新人議員研修会には、元気な様子で、質問などもされておりました。議員の個人研修では、二月十四日に和歌山県のみなべ町へ行く準備の資料集めなどきめ細やかな計画もしておりました。中途半端が嫌いなあなたはさぞ心残りであったと天国で寂しい思いをしているのではないのでしょうか。

前の日まで、元気に家族と楽しい会話をされた聞き、ご家族特に、奥さんの心痛は察するものがあります。

あなたが今、六十八才の働き盛りで忽然として帰らぬ人となられたことは、今もって実感となり得ず、余りにもはかない、人生の無常を、嘆かざるを得ません。

偉大なあなたを失った、私たち議員一同は、あなた

の思う郷土愛の心を、心として町政進展のために、一丸となって邁進する決意であります。

私どもの精一杯の努力を天上から見守っていただくと共に、一つ一つの施策が成就するよう、特段のご加護を賜りたいと存じます。

再びあなたと相見えることは叶いませんが、あなたのご遺徳と幾多のご功績は、永久に本町政に携わる者、並びに町民の胸に生

き、長く称えられることでありましょう。

追悼の念には限りがありませんが、惜しい人を失ったという言葉が、あなたの為に用意されたものと感

じる今、痛惜の思いは止まるどころを知らません。今はただ心からあなた様のご冥福をお祈り申し上げます。



▲ 1月開催の駿東郡町議会議長会全議員研修を受ける故湯山宏一議員

どうか、天上であって、残されました奥様をはじめ、ご家族皆様の前途に限りないご加護と、小山町にも限りない発展を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。ここに謹んで追悼の言葉といたします。

湯山宏一議員ご家族  
【副議長 廣嶋 邦彦】

## 総務建設委員会の報告

### 総務建設委員会の報告

委員長 米山千晴



▲道の駅「すばしり」のオンランプを視察する委員

総務建設委員会は、3月6日に開催され、9議案と平成24年度予算4件の付託案件の審議が行われました。主な審議の内容は次のとおりです。

**Q** 町道路線の廃止について、廃止路線の敷地用地は、土地改良事業に編入されたのか、又廃止路線番号は欠番になるのか。  
**A** 含まれていない。廃止の番号は欠番になる。次に平成24年度一般会計予算について。

**Q** 松田町の駐車場は小山町に勤務している人で、地域外からの勤務者は該当か。  
**A** 松田町の駐車場は小山町外でも小山町へ勤務している方であれば使用できる。

**Q** 中山間地域総合整備事業の進捗状況は。  
**A** 今年度事業費は2億2千万円で、地区は下原、所領、桑木、大胡田、吉久保の5地区が対象です。

**Q** 経営体育成基盤整備事業の進捗状況は。  
**A** 北郷地区の事業を実施しているものです。今年度上野のGH地区等の工事と確定測量を実施する。

**Q** 本年度の職員数は、一般会計、特別会計、国保会計を含む、実人員の職員数は。  
**A** 4月1日現在の正規職員数は219人の予定。

付託案件は、すべて原案のとおり可決されました。

## 文教厚生委員会の報告

### こども医療費は義務教育まで

委員長 櫻井光一

文教厚生委員会は、3月7日に開催され、暴力団排除条例の制定、学校等使用条例の一部改正、精神障害者医療費助成条例の一部改正、介護保険条例の一部改正、平成24年度一般会計予算及び特別会計予算など計9議案についての審議を行い、いずれも原案のとおり

可決しました。主な審議の内容は次のとおりです。

※一般会計予算

**Q** こども医療費の助成制度は0才から中学校卒業までの実施という説明があったが、こども医療費の助成については18才までの検討をされたかどうか。  
**A** 東部地域においても各市町いろいろな選択をしていますが義務教育という歯止めの中で、こども医療費は平成24年度の中では義務教育まで助成としていきます。高校生までは検討していません。

度と本年度、予算立ての違いは。

**A** 静岡県での保険料は6万1千813円で23年度に対し、2千246円増額です。要因は1人当たりの医療費の増加と負担率の上昇と人数の負担です。

※介護保険特別会計

**Q** 保険料の大幅な値上げの事実と他市町の比較を含めて公表すべきと思うが。  
**A** 広報おやま、通知書等で丁寧に説明致します。

**Q** 1人当たりの保険料の違い。昨年

※後期高齢者医療特別会計



▲改修予定の小山地区児童屋内体育施設を視察する委員

● 一般質問 ●

# 町政のここが聞きたい



▲地産地消の場となっている道の駅「すばしり」



池谷 弘

## Q 喜ばれる道の駅「ふじおやま」への対応 及び指定管理の予定は

## A 農産物以外の商品を拡大することで、 皆さんに喜ばれることを考えます

道の駅「ふじおやま」の農産物出荷組合は開設時より21%アップと飛躍的に売上を伸ばしています。地産

地産でフレッシュな安心安全の農産物を出荷してきた努力の賜物で、高齢者の元気の源にもなっています。品薄時にも情報技術で対応できると思います。また今以上に小山町をPRしていく場所にしていく必要があると

地産でフレッシュな安心安全の農産物を出荷してきた努力の賜物で、高齢者の元気の源にもなっています。品薄時にも情報技術で対応できると思います。また今以上に小山町をPRしていく場所にしていく必要があると

道の駅「道の駅」の指定管理の予定を伺います。

**A 町長** 第8次行政改革大綱実施計画にあるように、平成24年度中は、指定管理者の候補者の選定を行い、議会の議決をいただいた後に、平成25年4月に指定管理者制度の導入を考えています。

**Q** 活動予定を伺います。

**A 町長** イコモスの現地調査において、町内の機運の盛り上がりも登録に向けた重要な要因の一つである。これについては、NPO団体などの自発的な取り組みが最も効果があるのではないかと期待しています。町も「富士山世界文化遺産同県県民会議」に積極的に協力しており機運の醸成を図っていきます。具体的な構成資産の保全管理、バッファゾーンの保全管理については、適切に対応しており今後もより完全なものにしていきます。

**Q** 喜ばれ発展するための道の駅の考えを伺います。

**A 町長** 道の駅の活性化に向けて平成24年2月1日にリニューアルし、地元農業者が栽培した新鮮で安心な農産物を町内外のお客様に提供する機会を増やし、農産物以外の物品販売の商品抽えも拡大することで、皆さんに喜ばれると考えます。

## 富士山世界遺産推薦書提出後の小山町の対応について

「須走登山口、須走浅間神社」が構成資産で、富士山頂が小山町です。これがイコモスによる世界文化遺産の審査が開始されます。受入れ体制の整備にむ

け町内あげて世界文化遺産登録、登録後の活動が必要

● 一般質問 ●

# 一般質問に6人の議員が町の方針をたどしました



池谷 洋子

**Q** 東日本大震災から1年になります。多くの方々が犠牲になり、いまだ32万人以上が仮設住宅などの生活を強いられています。しかし多くの被災者が立ち上がり生活再建を目指しています。そのなかで東日本大震災で発生した膨大な「被災がれき」の処理が難航しています。現在も仮置き場に、がれきが山積みになったまま復興計画への影響も懸念されています。本県にも浜岡原発があり、いつ東海地震が起きるかわかりません。他人事ではありませんが、

**Q** 御殿場市との共同歩調については、

次の点について伺います。

**Q** 「被災がれき」の受入れ問題は

**A** 県及び他市町とも、連携を密にして対応してまいります

対応してまいります

**A** 町長 R D F センターは御殿場市・小山町広域行政組合で運営しているため、構成団体である御殿場市と共同歩調でいくのはもちろんであります。

**Q** 今後、県及び他市町との連携については、

**A** 町長 静岡県市長会・静岡県町村会、災害廃棄物受入れに係る環境整備について昨年共同声明を発信し、県・県に対して3回の申し入れを行っており、今後も引き続き、県及び他市町とも、連携を密にして対応してまいります。

**Q** 住民の意見を聴くことについては、

**A** 町長 仮に被災がれきを受入れる場合は、地元桑木区、構成団体である御殿場市、固形燃料を処理している施設を所管する市町村との協議をし、広く町民のみなさんの意見を聞いてご理解とご納得をいただくことが不可欠であります。

**A** 町長 発生からまもなく1年を迎えようとしている今でも多くの方が、不安で不自由な生活を余儀なくされ

**Q** 被災地の復興について町長の率直な見解を。

**A** 町長 発生からまもなく1年を迎えようとしている今でも多くの方が、不安で不自由な生活を余儀なくされ



▲大榎駅付近の被災がれき（小山町危機管理監より写真提供）

9 ※その他に、「災害時の避難所を示すポスター掲示について」の質問がありました。

● 一般質問 ●



込山恒広

**Q** 町内企業の現状と今後の課題

**A** 都市計画などと連携し、有機的な取り組みを推進します

**Q** 製造業の海外移転等の流れが止まらず、雇用及び税金への打撃が深刻な課題となっております。対応策の検討が急務と考えます。

転換した企業もあることから、雇用も減少傾向にあります。

**Q** 今後の富士小山工業団地等の活性化策を進めるために、町民や町出身者及び学識経験者等衆知による指導機関を作る事が急務と考えますが如何か。

**A** 町長 機構改革により、平成24年度から新たに創設する政策秘書課で庁内を横断する組織を作り、都市計画などと連携しつつ、有機的な取り組みを推進します。

**Q** 富士小山工業団地でも数社が撤退又は縮小し、一部が空地となっている有様です。現在残っている企業はどのような状況ですか。また、雇用への影響は。

**A** 町長 現在富士小山工業団地内で空地となっているのは1区画ですが、この区画への企業誘致も積極的に進めています。ご指摘のとおり、法人税収、出荷額ともに減少しており、製造施設から研究や物流拠点へと

**Q** 企業優遇策及び企業懇話会でのビジネスマッチング検討結果は。

**A** 町長 進出企業への補助制度の事務的準備は完了しました。最も効果的な時期に制度を活用できるよう、企業の動向や町の財政を冷静に見極めて実施します。ビジネスマッチングは、商工会員11社がプレゼンテーションを実施し、約半数の5社が取り引きにつながりました。今後も商工会や企業懇話会と協力しながら取り引きの増加を図ります。



▲ 企業誘致が期待される富士小山工業団地



● 一般質問 ●



▲ 青虎会の老健施設が建設予定とされている旧足柄学園跡地



湯山 鉄夫

**Q** 第4次総合計画の予算化と  
予算外計画外の事項の対応は

**A** 地区要望事項に対応する経費を大幅に  
増額し、補正予算や予備費でも対応します

**Q** 第4次総合計画の  
予算化と予算外計画  
外の事項の対応について

ける総額は、77億6千万円  
となっております。

**A** 町長 総合計画  
の予算化に  
ついては、第4次小山町総  
合計画では、「便利で快適  
なまち」、「いきいきとしたま  
ち」、「計画の推進のため  
に」の4つの基本目標と35  
の基本施策で構成され、こ  
れらの施策を具体化するた  
めに、毎年度、3か年の総  
合計画実施計画を策定して  
おります。平成24年度当初  
予算におきましても、この  
実施計画に基づき、着実な  
計画推進を行っていくこと  
を念頭に、編成を行ったと  
ころであり、一般会計にお

ける総額は、77億6千万円  
となっております。

**Q** 足柄地域の再開発計画策  
定について

第4次小山町総合  
計画は多くの議論を  
重ねて10年先の町づくりを  
目指しての施策が本年度よ  
り実行年となりました。策  
定された実施計画は本年度  
予算措置がなければなりま  
せん。

総合計画の実施計画を初  
年度予算に組まれた内容と  
その予算額について。

込山町長の初めての予算  
編成に当たり3つの挑戦10  
の戦略「ニフェスト」政策

提言」の実行がなければな  
りません。

予定外、計画外の事項に  
如何に対応されるか。

**A** 町長 予算外・  
計画外の事  
項への対応については、新  
年度予算の中で、道路の舗  
装補修などの地区要望事項  
に対応する経費としまし  
て、4千730万円、前年度と  
比べますと2千730万円、  
236.5%の増と、大幅に増  
額し、地区から出される要  
望に対して出来る限り対応  
できるよう、予算枠を確保  
しております。なお、緊急  
性、事業規模等を考慮いた  
しまして、補正予算や予備  
費等でも対応していきたい  
と考えております。

の戦略「ニフェスト」政策

提言」の実行がなければな  
りません。

● 一般質問 ●



渡辺悦郎

Q クリーンエネルギー事業促進を

A 町の環境施策を総合的に推進する

環境基本条例を制定します

Q 昨年の原発事故以来、再生可能エネルギーが注目され、国や県も支援態勢が整いつつある

今、町の資源でもある湧水や太陽光を利用する発電所を建設し、24年度予算案の

道の駅「ふじおやま」「すばしり」に設置が予定される電気自動車急速充電器

等を使用して、「クリーンエネルギータウンおやま」

を目指し、併せて道の駅等の集客効果につなげ、観光資源としてはいかがでしょう

うか。町の見解を伺います。

A 町長 平成24年度に道の駅に設ける電気自動車用急速充電器は、国及び県の補助金を受けて設置し、その電源は電力会社から供給

される商用電源を使用します。小水力発電についても、可能性があると考えていますので、引き続き検討してまいります。

クリーンエネルギータウンおやまの推進については、太陽光発電設備補助やバイオマス活用に取り組んでいます。来年度には町の環境施策を総合的に推進する環境基本条例を制定し、

安心・安全な環境づくりのため努力していきます。

防災計画(安心・安全なまちづくり)について

東日本大震災の教訓のひとつに「広域避難」があり、町でも富士

山噴火にともなう広域避難の可能性があります。有事に備え町民が安全且つ速やかに避難できる計画について町の計画案と見直し案について伺います。

A 町長 町では、大規模災害に備え、県内外の市町村と9つの協定を締結しております。しかし、大規模災害等に対応するため、避難方法など地域防災計画で具体化しておくことが重要ですので、今後関係市町村と検討・調整を進め、計画見直しの中で明確にして、あらゆる災害に対応すべく、全国規模での協定締結を進めていきます。



▲ 小水力発電の検討がされている電坂湧水（道の駅「すばしり」付近）

# 一私の望み一

No.3

山戸 貴裕 (小山中2年)



僕は幼稚園の年長まで宮城県石巻市に住んでいました。毎年、夏にはきれいな海で泳いでいました。しかし、昨年の東日本大震災により、石巻は壊滅的な被害を受け、海水浴等ができなくなりました。今でも多くの人ががれきの撤去をしています。

小山町も一昨年の豪雨により被害を受けました。その時に、多くのボランティアのおかげで、町は復興に向かいました。僕は石巻のきれいな海を取り戻すために、少しでも力を貸せたらと思っています。そして、もう一度、石巻の海で泳ぎたいと思っています。

僕は、もう一つ望みがあります。僕は今、小山中のソフトテニス部で活動しています。毎朝7時にはコートに来て、一生懸命練習しています。でも、小山中には3面しかコートがありません。いつも女子と交替しながら練習をしています。時々、「今日は1面しか使えないのか。せまいなあ。あと1面あればなあ。」と思います。あと1面テニスコートを作ってほしいです。

富士山が世界遺産になれば、小山町はにぎやかで楽しい町になると思います。早く登録されることを願っています。

## 災害現地視察報告

町議会は平成23年9月8日台風9号により発生した甚大な被害状況に鑑み災害対策特別委員会を設置して現況の調査等を、随時や対応対策等々行政間の首脳層からの状況説明を求め復旧に向けての要請政策提言の取り組みをして参りました。

委員会は復旧工事現場の視察を行いました。既に水道、農地災害、教育関係は完了している状況にて、今回は主として2級河川関係の中で須川、小山佐野川関連と道路関係は町道中白向線の道路陥没現場と湯船地区の町道復旧完了後の現場確認をしました。

1、須川流域  
水質が良く綺麗な水が流れる須川の水を利用した、農業用水、(西山用水、藤田用水の頭首工)、農圃場、わさび田等々の影形は消え失せ、荒れ果てた状況から復旧に向けて工事が進んでいます。特に農業用水はこの春に水田の植え付けに間に合わせるため、

2、須走排水水路整備計画  
佐野川水系の上流、須走地先は雨水による護岸対策に流れ出る火山灰の砂防工事が復旧する、折角復旧した環境が次の台風により決壊するなど、崩れ落ちるスコリアを防ぐには容易ならぬ状況であります。しかし対策は進めなければなりません。農圃場工と町道の施工区分があり完全な完成までは暫くの期間が必要になります。

3、年度末までの概況  
22.9.8災害の危機に直面された人々、地域、関係機関、関係者の協力と努力により復旧計画・復旧工事は進展しました。須川関係の復旧工事は23年より継続して24年度竣工完成を目指して進められています。災害関係の復旧は24年度で完了となります。安心安全な町として安全宣言がしたいと願っています。(記 湯山鉄夫)

皆さんの声を募集しています！  
町づくりや子ども教育のことなど、どんなことでも結構です。で、あなたの住所、氏名、電話番号を明記してメール、ファックスやお手紙で気軽にお願いします。

ご応募いただいた内容は、広報委員会で選考し、ご本人に承認していただいたうえで「議会だより」に、掲載することとします。

議会へのメールアドレス [gikai@fuji-oyama.jp](mailto:gikai@fuji-oyama.jp)

会議録の閲覧ができます  
議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で閲覧できますので、ご覧ください。

なお、3月定例会の会議録は、5月下旬から閲覧できます。

議会だよりは、町のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

（編集委員）  
委員長 藤岡 邦彦  
副委員長 高畑 博行  
委員 湯山 鉄夫  
委員 渡辺 悦郎  
委員 阿部 司

編集後記  
黄色い帽子とランドセルで緊張した顔で登下校する1年生も笑顔に変わりつつある時期、山々の木々も萌葉から濃い緑に変化してきました。議会も選挙から1年を経過し、新メンバーでスタートしましたが、1名が志半ばで逝去されました。町制施行100周年の今年、小山町が抱える問題をひとつずつ解決しながら「明るく住みよい小山町」、そして「金太郎のような元気のある町」をつくるために議員一同力を合わせて頑張っています。欠員となりました編集委員に明るく優しい人柄の阿部司議員が選任されました。編集委員一同、多くの皆様の声を頂きながら議事をわかりやすく伝えていきたいと思っております。(記 渡辺悦郎)

